

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-305291

(43) 公開日 平成8年(1996)11月22日

(51) Int.Cl. ^a	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 3/10			G 0 9 F 3/10	H
B 4 2 D 15/00	3 7 1		B 4 2 D 15/00	3 7 1
G 0 9 F 3/03			G 0 9 F 3/03	E

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平7-129626

(22) 出願日 平成7年(1995)4月28日

(71) 出願人 000130581

株式会社サトー

東京都渋谷区渋谷1丁目15番5号

(72) 発明者 白石 裕雄

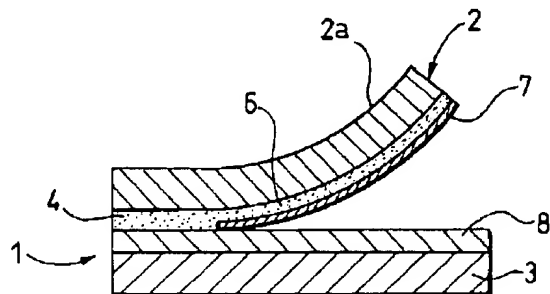
東京都渋谷区渋谷1丁目15番5号 株式会社サトー内

(54) 【発明の名称】 台紙つき付箋シート

(57) 【要約】

【目 的】商品等に貼付されるラベルを索引用見出しや指標片または記録用として、剥離可能に繰り返し使用することができ、また従来より容易に付箋を1枚ごと剥離でき、更に製造コストを安価にすることができる台紙つき付箋シートを提供するものである。

【構 成】一葉のラベル2に剥離可能な接着剤層6を有し、この一葉のラベル2に所望の間隔でスリット5を設けて、更に前記剥離可能な接着剤層6の表面に一部欠除して積層される離型剤層7を塗工して、前記一部欠除した部位にて台紙3に仮着されたことを特徴としたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】剥離可能な接着剤層を有する一葉のラベルに、前記剥離可能な接着剤層の表面に一部欠除して離型剤層を塗工し、一部欠除した部位にて台紙に仮着し、前記一葉のラベルに適宜間隔でスリットを設けたことを特徴とする台紙つき付箋シート。

【請求項2】前記スリットを設けた前記一葉のラベルの剥離側の一辺より、前記台紙のその一辺の方が短いことを特徴とする請求項1記載の台紙つき付箋シート。

【請求項3】前記スリットを設けた前記一葉のラベルの剥離側の一辺より、前記台紙のその一辺の方が長いことを特徴とする請求項1記載の台紙つき付箋シート。

【請求項4】剥離可能な接着剤層を部分的に塗工した一葉のラベルに、該部分的に塗工した部位を台紙に仮着し、前記一葉のラベルに適宜間隔でスリットを設けたことを特徴とする台紙つき付箋シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、索引用見出しや指標片又は記録用として剥離可能に繰り返し使用することができる台紙つき付箋シートに関する。

【0002】

【従来の技術】最近、剥離可能な付箋がよく利用され、物品等を傷めることなく貼付、剥離を繰り返し使用することができる。そして、一旦貼付した付箋は意識的に剥離を容易とし、又不用意に脱落するおそれは、ほとんどないことからさまざまな用途に用いられている。

【0003】更に、付箋にメモやコメントや注意事項等を記することにより、内容の整理・分類や他の使用者への情報伝達を容易にする等、使用者は付箋の多彩な利用方法をあげることができる。このような付箋は、従来図9に示すように台紙23の上に所定形状の付箋21を接着部22を介して複数枚積層したブロック状付箋20のものがよく用いられている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、付箋21を必要とするときは、1枚ごと必要とし1枚ごと剥離するものであって、図9に示す従来のブロック状付箋20において、所定形状の付箋21を複数枚積層されているので、付箋21を必要とするとき付箋21を1枚ごと剥離するのに、容易に剥離することができず、手間がかかり煩わしいという問題点があった。

【0005】更に、付箋21をブロック状に積層するための製造装置（図示せず）が必要となり製造コストが高くなるものである。

【0006】本発明は、上記の事情に鑑みて付箋を剥離する時に、1枚ごと容易に剥離することができ、且つ商品や容器などに貼付される、ラベルを製造する従来のラベル製造装置を利用することによって、安価な台紙つき付箋シートを提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の目的を達成するために、剥離可能な接着剤層6を有する一葉のラベル2に、前記剥離可能な接着剤層6の表面に一部欠除して離型剤層7を塗工し、一部を欠除した部位にて、台紙3に仮着し、前記一葉のラベル2に適宜間隔でスリット5を設けたことを特徴とする台紙つき付箋シート1である。

【0008】また、前記スリット5を設けた前記一葉のラベル2の一辺より、前記台紙3のその一辺の方が短い、または前記スリット5を設けた前記一葉のラベル2の剥離側の一辺より、前記台紙3の方が長くしたものである。

【0009】更に、剥離可能な接着剤層6を部分的に塗工した一葉のラベル2に、この部分的に塗工した部位に台紙3Dに仮着し、前記一葉のラベル2に適宜間隔でスリット5を設けるものである。

【0010】

【作用】本発明の台紙つき付箋シート1は、一葉のラベル2にスリット5を介して形成された付箋2aの剥離側の端部を1枚ごと容易に指先で挟み、付箋2aを剥離することができる。

【0011】更に、スリット5を設けた一葉のラベル2の剥離側である台紙の一辺が、ラベルのその一辺より短くすることにより、付箋2aを1枚ごと、確実に剥離できるものである。また台紙の一辺が、ラベルのその一辺より長くすることによって、各付箋の端面の保護ができるものである。

【0012】また、商品や容器などに貼付されるラベルを製造する従来のラベル製造装置（図示せず）を利用して、索引用見出しや指標片または記録用として、剥離自在に繰り返し使用できる台紙つき付箋シート1であり、付箋をブロック状に積層するための製造装置（図示せず）を必要とせず、台紙つき付箋シート1を安価に製造できるものである。

【0013】

【実施例】本発明の台紙つき付箋シート1の実施例を図1乃至図8を基づいて説明する。図1は本発明の第一実施例である台紙つき付箋シート1の斜視図である。一枚の台紙3の上に接着部4を介して一葉のラベル2が仮着され、この一葉のラベル2にスリット5を適宜間隔で設けられている。

【0014】そして、ラベル2にはスリット5によって短冊形に付箋2a・2aを形成されるものであり、また夫々のスリット5は接着部4を分断するように設けられているが、この下材の台紙3は切断されない。

【0015】図2は、図1の第一実施例のII-II線に沿って切断した断面図である。台紙3の表面にシリコン剤8が施され、一葉のラベル2の一方の面に剥離可能な接着剤層6を全面に施し、この剥離可能な接着剤層6の表

面にその一部を残して離型剤層7を塗工されるものである。尚、離型剤層7はワニスまたは印刷インキ等を用いるものである。

【0016】また、一部残した部位を、台紙3のシリコン剤8を施した面上に仮着される接着部4を形成する。

【0017】また、接着部4を介して台紙3に仮着される一葉のラベル2を付箋2a・・・2aとして利用することができる台紙つき付箋シート1を利用者が付箋2aを必要ときに、台紙つき付箋シート1の離型剤層7を施した付箋2aの剥離側の端部を容易に指先で1枚ごと挟み、スリット5を介して剥離できる。

【0018】従って、従来の複数枚積層されたブロック状付箋20より、容易に付箋2aを1枚ごと剥離することができ、付箋2aの剥離する時の煩わしさがなくなるものである。

【0019】更に、付箋を複数枚積層する装置を必要とせず、従来のラベルを製造するラベル製造装置を利用して、台紙つき付箋シート1を製造するもので、コストの低減を図ることができる。

【0020】つぎに、図3および図4に基づいて第二実施例を説明する。図3は第二実施例の台紙つき付箋シート1Aの斜視図である。図4は、図3のIV-IVの断面図である。

【0021】前述と同様に一葉のラベル2、付箋2b、接着部4、スリット5、剥離可能な接着剤層6、離型剤層7、シリコン剤8である。そして、台紙3Aは、スリット5を設けた一葉のラベル2の剥離側の一边より台紙3Aのその一边の方が短く形成したものである。

【0022】付箋2bを剥離するときは、台紙つき付箋シート1Aの離型剤層7を施した付箋2bの剥離側の端部を指先で挟むときに台紙3Aがないので無意識のうちに付箋2bを挟むので、容易にスリット5を介して、付箋2bを1枚ごと剥離することができる。

【0023】更に、図5および図6に基づいて第三実施例を説明する。図5は第三実施例の台紙つき付箋シート1Bの斜視図である。図6は図5のVI-VIの断面図である。前述と同様に、一葉のラベル2、付箋2c、接着部4、スリット5、剥離可能な接着剤層6、離型剤層7、シリコン剤8である。

【0024】そして、台紙3Bは、スリット5を設けたラベル2の剥離側の一边より台紙3Bのその一边の方が長く形成したもので、台紙つき付箋シート1Bの離型剤層7を施した付箋2cの剥離側の端部を指先で捲り、そして剥離する。

【0025】更に、付箋2c・・・2cの端部より台紙のその一边の方が、長く形成したもので、各付箋2c・・・2cの端面の保護となる。

【0026】つぎに、図7および図8に基づいて第四実施例を説明する。図7は第四実施例の台紙つき付箋シート1Cの斜視図である。図8は、図7のVII-VIIの断面

図である。

【0027】一葉のラベル2、付箋2d・・・2d、台紙3C、接着部4、スリット5、剥離可能な接着剤層6である。

【0028】台紙3Cの表面にシリコン剤8が施され、一葉のラベル2の一方の面に剥離可能な接着剤層6を部分的に塗工したもので、部分的に塗工した部位を仮着した接着部4を形成することもできるので、従来のブロック状付箋より、安価に製造でき、且つ付箋を容易に剥離できる。

【0029】また、スリット5によって付箋は短冊形の形状のものとして例に説明したが、短冊形以外に所望の形状のものを組み合わせてもよいものである。また、実施例では台紙の表面にシリコン剤8を施した構成として説明したが、シリコン剤8は必要に応じて施すものである。

【0030】更に、メモやコメントをあらかじめ付箋に記入することもでき、記入したあと付箋を台紙から剥離して所望の物品等に貼付することができ、貼付したあとに必要に応じて剥離、貼付を繰り返してできる。

【0031】また、あらかじめ所定の記入事項や罫線を印刷しておけば、索引用見出しや記録用として使用できるものである。

【0032】

【発明の効果】以上詳細に説明したように本発明は、剥離可能な接着剤層を有する一葉のラベルに、前記剥離可能な接着剤層の表面に一部欠除して離型剤層を塗工し、一部欠除した部位にて台紙に仮着し、前記一葉のラベルに適宜間隔でスリットを設けたものであるから、従来のようにブロック状に付箋を積層するための製造装置を必要とせず、しかも従来のラベル製造装置を利用して、台紙つき付箋シートを製造することができる。

【0033】更に、付箋をブロック状に積層していないので、付箋を1枚ごと剥離するときの手間や煩わしさがなく、確実に1枚ごと剥離できる。

【0034】また、スリットを設けた一葉のラベルの剥離側の一边より、台紙のその一边の方が短い構成なので、確実に付箋を1枚ごと剥離することができ、付箋を剥離するときの手間や煩わしさが解消され、索引用見出しや指標片または記録用として、剥離、貼付を繰り返して使用することができる。

【0035】また、スリットを設けた一葉のラベルの剥離側の一边より、台紙の方が長い構成としたので、各付箋の剥離側端面の保護が可能である。

【0036】更に、剥離可能な接着剤層を部分的に塗工した一葉のラベルに、この部分的に塗工した部位に台紙に仮着し、前記一葉のラベルに適宜間隔でスリットを設けてもよく、従来のブロック状に積層した付箋より安価に製造でき、且つ付箋を容易に剥離できるものである。

【図面の簡単な説明】

5

6

【図1】本発明の台紙つき付箋シートの第一実施例の斜視図である。

【図2】第一実施例のII-IIの断面図である。

【図3】本発明の台紙つき付箋シートの第二実施例の斜視図である。

【図4】第二実施例のIV-IVの断面図である。

【図5】本発明の台紙つき付箋シートの第三実施例の斜視図である。

【図6】第三実施例のVI-VIの断面図である。

【図7】本発明の台紙つき付箋シートの第四実施例の斜視図である。

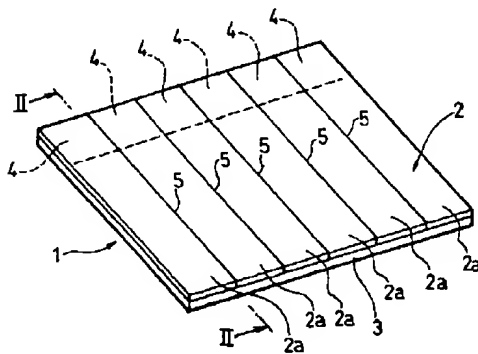
【図8】第四実施例のVII-VIIの断面図である。

【図9】従来のブロック状付箋である。

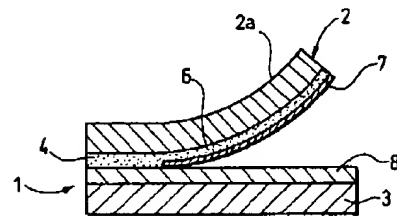
【符号の説明】

1	付箋シート
1 A、1 B、1 C	付箋シート
2	一葉のラベル
2 a、2 b	付箋
2 c、2 d	付箋
3	台紙
3 A、3 B、3 D	台紙
4	接着部
5	スリット
6	剥離可能な接着剤層
7	離型剤層
8	シリコン剤

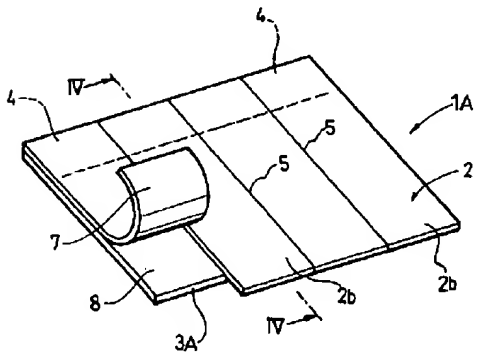
【図1】



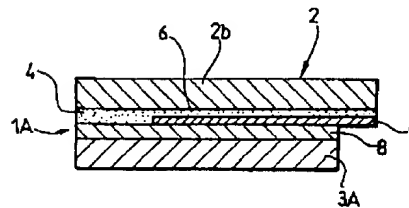
【図2】



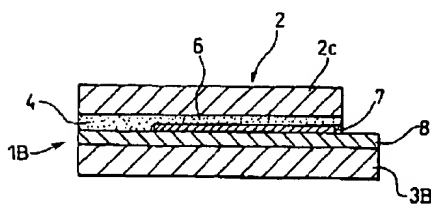
【図3】



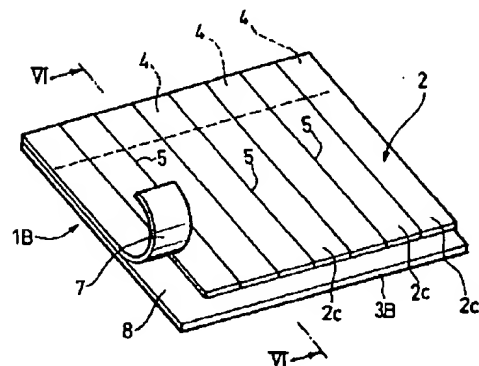
【図4】



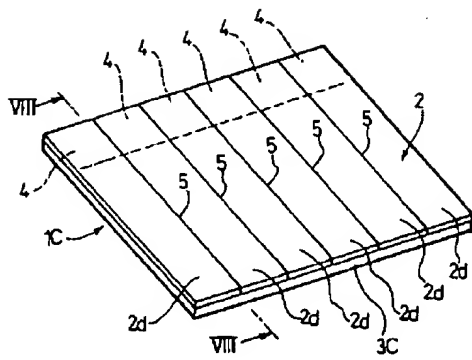
【図5】



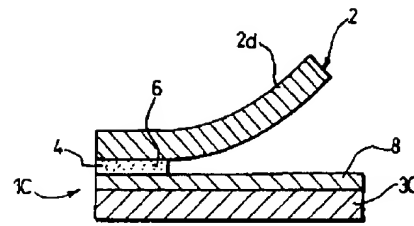
【図6】



【図7】

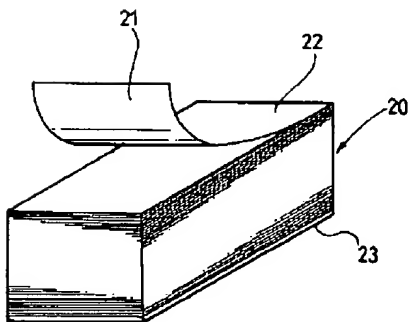


【図8】



【図9】

従来



PAT-NO: JP408305291A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08305291 A
TITLE: CARDBOARD-EQUIPPED TAG SHEET
PUBN-DATE: November 22, 1996

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
SHIRAISHI, HIROO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
KK SATO N/A

APPL-NO: JP07129626
APPL-DATE: April 28, 1995

INT-CL (IPC): G09F003/10, B42D015/00 , G09F003/03

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide an inexpensive cardboard-equipped tag sheet which can be easily peeled one by one and be fabricated by use of a conventional label fabrication device by applying a surface lubricant layer to the surface of a releasable adhesive layer on one sheet of label except a part of the surface, temporarily attaching the label to the cardboard at its portion where the surface lubricant layer is not applied, and providing the label with appropriately spaced slits.

CONSTITUTION: A sheet of label 2 having a releasable adhesive layer 6 has a surface lubricant layer 7 applied to the surface of the

adhesive layer 6 expect
a part of the surface, is temporarily attached to a
cardboard 3 at its portion
where time surface lubricant layer is not applied, and is
provided with
appropriately spaced slits 5. One side of the cardboard 3
is shorter than the
side of the sheet of label 2 where the slits 5 are
provided, and the side of
the label 2 facing the cardboard 3 is longer than the side
of the label 2
provided with the slits 5 and facing the surface lubricant
layer. This tag
sheet 1 allows tags 2a formed in the sheet of label 2 via
the slits 5 to be
peeled as the peeling ends of the tags 2a are easily
gripped one by one with
fingertips.

COPYRIGHT: (C)1996, JPO